

石の枕

「主が与え、主が取られたのだ。主の聖名はほむべきかな」(ヨブ記1:21)
アブラハム会の山本登兄が、先週の火曜日夕方、主のみもとに召されました。
長い間の奥様(裕子姉・補教師)の熱い祈りに、主がお応えくださって、57才で
受洗された「5時から男」(マタイ20章)。しかし、信仰をもたれてからの姿勢
はまことに誠実で、教会内外で大活躍。教会の監事として、またギデオンの
勇士として主の教会に仕えて下さいました。

淋しくはありますが、愛と礼とをもって、お別れます。木曜午後2時より。

先々週なされた「終活セミナー」は好評の内に終わり、先週は「個別相談」
もなされた。中井兄と三人の税理士と行政書士の方々に心から感謝します。

「終活」で最も重要なことは、人生の終わりを活々とさせていただくために
罪を悔改めし、罪の赦しをいただき、受洗をもって、その信仰を堅くするこ
とであります。イエス様を人生の主とすることは、キチンと日曜礼拝を守ったり
教会員としての信徒の務めを果たすことにつながります。

山本兄も、病との闘いの中で、ハッキリとした信仰をもって、死に対する
恐れから解放されて、実に落ちついて、確信にみちて、天国に召されて行き
ました。まさに「死んでも生きる！」(ヨハネ福音書11章25節)の世界です。

もし自分が召されたら、教会に電話で連絡して下さい。また教会専属の葬儀
屋さん(他でも可)「明興社」(担当は川口氏)にお電話(0120-441-112 又は
046-260-4949)してください。全てを心得て、最善な方法で準備をして下さ
います。まさか自分で電話はできませんので、家族にその旨をハッキリ伝えて
おいて下さい。個人略歴や信仰の証詞や聖歌の愛唱歌も、副牧師まで
知らせておくと良いかと思えます。

教会に支払う諸経費は、20万円位。あとは葬儀社には実費。詳細は
担当副牧師までお尋ね下さい。

Y姉からのお手紙。「母の召天一ヶ月を迎えて」——母の信仰にならい、
神様のなされた事に対して、なぜ、どうして、という問いではなく、感謝と
賛美で応えていく者になりたいと願っています。有り難うございました。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:マタイ25章~27章 Bコース:レビ記4章~19章